

3 伊予市地域防災計画(原子力災害対策編)について

万が一、原子力災害が起こった場合、大規模な地震や津波も併発している可能性が高い。避難者の一時集結所として下灘コミュニティーセンターは適切か?また、第2候補地も選定しておくべきではないか。

市長

自然災害により施設が使用不能となれば、緊急避難的に他の施設に集結させる。したがって、あらかじめ第2候補地を選定しておけば混乱を回避できるので、上位計画を所管する県等と協議する。

総務委員会より

ふるさと応援基金条例が全会一致で可決!

市が「こういう事業をやりたいので、皆さんの寄附を募りたい」とときに、応援したいという方々から寄附を募り、実現させていくための基金条例です。最近よく聞くクラウドファンディングをイメージしてもらうと分かりやすいと思います。

例えば、その事業に1000万円が必要で、皆さんから頂いた寄附の総額が600万円あったとしたら、残りの400万円を一般財源から出して実施することになります。寄附金が何に使われたかがよくわかります。基金にすると、複数年に渡って事業に使用することができ、より有効な活用が期待されます。

この条例の委員会審議において、私は4つの質問を行いました。

① 市内の方が寄附する場合、寄附偏重になると一般財源が減り問題ではないか。

→上限額を設ける議論があるかもしれないが、今後の運用状況を注視したい。

② 寄附金額が想定以上の場合、その使いみちはどう考えているか。

→他の目的には回せないもの。翌年度以降に続けて、関連事業を予算化しておく、運用して利益を積み立て、さらに関連事業を企画していく方法などが想定される。

③ 他市は同様の条例で、ふるさと納税を活用している。伊予市も基金に入れようすれば、単年度だけでなく、複数年度に渡って使用ができるのではないか。

→非常に大きな提案だ。内部でも協議し、今後検討したい。

④ 基本的に返礼品のない事業で、市外からの寄附を集め手法は?

→全国の自治体がインターネットを活用して熱心に取り組んでいる。とにかく見せ方と担当課の熱量をいかに伝えていくかに尽きる。あらゆる工夫を凝らしていく。

4 教職員の餞別贈呈の是非について

民間の法人格の学習塾でも金品の受け取りは禁止をしている。花やお菓子を受け取ることまで言わないが、金や商品券の受け取りはやめるべき。新しい教育長のもとで、教職員とPTAとの関係を次のステージに向かわせてほしい。

教育長

PTAは保護者と教職員とで組織する任意団体で、PTA内における餞別についての教職員への指導は、教育委員会として禁止も指導もしない。もちろん、個人的に保護者等から金銭・商品券を受け取ることはない。



第2回 遠くのヤシの木

「あんたの家は、あの大きなヤシの木があるところかい?」こんなことを聞かれることが、何度かあります。「そうですよ。」と応えますが、そのヤシの木は20年以上前に切ってしまっています。

しかし、私にとって、祖父母の家の目印は水産試験場(現水産研究センター)を越えて緩やかなカーブを曲がったあとに見えてくる、あの大きなヤシの木でした。とても、印象深いものでした。

祖父は99年に他界しました。高校の教員で伊予農業高校での指導も長かったので、祖父に教えてもらったという先輩方にお会いすることも多いです。私が物心ついたときには退職していたので、私の祖父に対する印象は「菊を育てるのが好きで、原辰徳が好きで、麻雀が大好きな人」でした。食べるのがすごく早く、私たちが大皿から取って食べ始めた時には食べ終わっていて、すぐに席を離れてリビングで巨人戦を観ていました。菊が心配だからと旅行にも行かない人だったし、団欒に参加することもない人だったし、孫と一緒に遊ぶような人でもなかつたので、私にとって祖父は少し遠い存在でした。

しかし、祖父が亡くなつてから私の祖父に対する印象は大きく変わりました。葬儀には多く方が参列してくれて、葬儀場に入りきらず、たくさんの方が立ったまま見送っていました。植物と向き合っている祖父ばかり見えてきたので、こんなに多くの人と交流があったとは思いませんでした。

また、教え子の方々も多く参列してくれていて、そんな人望のある教師だったのか?と驚きました。

彼岸に墓参りをすると、すでに祖父の墓がきれいに掃除されていることが何度かありました。「誰かが来て、やってくれたんだねえ。」と祖母は簡単に言っていましたが、それはすごいことだと思います。

ヤシの木がなくなつても、ヤシの木があつたことを覚えてくれている人がいるように。祖父が亡くなつても、祖父がいたことを覚えてくれている方がいる。

亡くなつて20年以上経つた今でも、墓に行くと、どなたかの線香跡を時々見つけます。じいちゃん。全然知らなかつたけれど、あなたはすごいよ。

幸せな人生だったんだね。



(祖父母、父、中学時代の私)

プロフィール

本名	田中 慎之介	1980年 6月9日生まれ(41歳)
家族	妻・娘(7才)・息子(5才)	1999年 愛光学園卒業(41期ラグビー部主将)
趣味	ラグビー・将棋・読書	2000年 早稲田大学第一文学部入学
座右の銘	愛妻・納税・墓参り	2006年 早稲田大学第一文学部中退
		2008年 県内大手学習塾入社
		2021年 政治の道を志し、退社
		2021年4月 伊予市議会議員選挙 初当選
		総務委員会所属



毎週月曜日7:30~8:00頃
向井原駅付近で街頭演説!
一聴いただけだと嬉しいです

日々の活動は、ゆる〜く
Facebookに書いていますので
こちらも見ていただけると嬉しいです

